

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

時空を超えた、音楽の対話。
シューベルトからベリオ、
チャーリーノへ。

マサトが問う、
今に生きる音楽とは？

Subscription Concert No. 603
Thursday 19th November 2020 19:00 Suntory Hall
MASATO SUZUKI, Conductor
SCARRINO: Autoritratto Nella Notte
SCHUBERT: Symphony No. 4 in C minor, D 417 "Tragic"
BERIO: Rendering

マルチな活動で注目を浴びる新時代の旗手
鈴木優人 指揮者/クリエイティブ・パートナー

チャーリーノ: 夜の自画像
シューベルト: 交響曲第4番 ^{短調}「悲劇的」_{D417}
ベリオ: レンダリング
～シューベルトの未完の断片を用いて～

読売日本交響楽団 第603回 定期演奏会

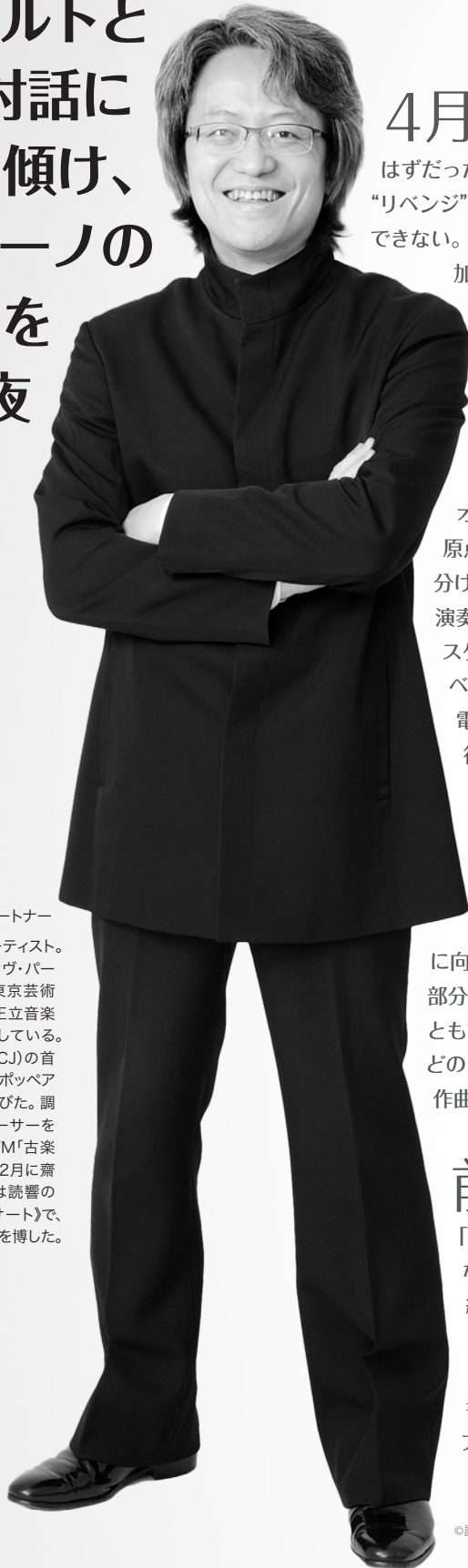
2020 11/19 木 19:00
サントリーホール
S ¥7,600 A ¥6,600
B ¥5,600 C ¥4,100

読響チケットセンター 0570-00-4390
(10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力: アフラック

※マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

シューベルトと ベリオの対話に 耳を傾け、 チャーリーノの 新たな響きを 楽しむ夜



鈴木優人 指揮者／クリエイティブ・パートナー
マルチな才能で時代を切りひらく気鋭のアーティスト。2020年4月に読響の指揮者／クリエイティブ・パートナーに就任。1981年オランダ生まれ。東京芸術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。鍵盤奏者としても国内外で活躍している。2018年にバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)の首席指揮者に就任。BCJとは〈マタイ受難曲〉〈ポップアの戴冠〉〈リナルド〉などを上演して注目を浴びた。調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサーを務めるほか、作曲家としても活動。NHK・FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演している。今年2月に齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。10月には読響の《第49回サントリー音楽賞受賞記念コンサート》で、メシアン〈峡谷から星たちへ〉を指揮して絶賛を博した。

4月 から新たに読響の指揮者／クリエイティブ・パートナーに就任した鈴木優人が、5月に《定期演奏会》でお披露目するはずだったシューベルトからベリオという流れのプログラムで“リベンジ”し、今に生きる音楽に迫る。過ぎ去った時を取り戻すことはできない。しかし、シューベルトからベリオ、更にチャーリーノ作品を加えた今回のプログラムは、5月のことも振り返りつつ、私たちがコロナ禍で経験した音楽の“沈黙”を経て、「客席で生の音に耳を傾ける」という行為について改めて想いを巡らせる良い機会になるだろう。

19 81年生まれの鈴木優人は、鍵盤奏者や指揮者など多彩な活動で注目を浴びている。世界的指揮者・オルガン奏者である鈴木雅明を父に持ち、「バッハが音楽の原点」と語る一方で、ロマン派音楽や同時代音楽まで分け隔てなく積極的に取り組んできた。《読響定期》デビューに演奏するのは、ベリオがシューベルトの未完の交響曲(二長調)のスケッチをもとに作曲した「レングリング」。1925年生まれのベリオは、第二次大戦後のイタリア前衛音楽の旗手とされ、電子音楽のパイオニア的存在として知られるが、彼の音楽の原点は、オルガン奏者の父と祖父から手ほどきを受けたことだ。ここに鈴木優人と共通点を感じさせる。ベリオは、前衛的な活動を行う一方で、モンテヴェルディ、バッハらの編曲を残すなど、過去の音楽との対話を続けた。1990年初演の「レングリング」は、シューベルトの意図を酌んだ「修復」を試みたもの。ベリオがシューベルトの遺産に向き合い、継ぎ目には過去と現在の時空に霧がかかったような部分を生み、創造的な編曲を行っている。この古典的とも現代的とも言えるユニークな作品を、ミレニアル世代の鈴木がどのように現代に伝えるのか、期待は膨らむ。鈴木は、二人の作曲家と向き合い、新たなまなざしで作品の魅力に迫るだろう。

前半 は、ベリオ後のイタリアの現代音楽を代表する1947年生まれのチャーリーノが書いた「夜の自画像」で始まる。音楽なのかノイズのような生活音なのか、独創的な音響空間が広がる。続いて、ベリオ作品と呼応する形でシューベルトの交響曲第4番「悲劇的」を演奏する。作曲家としての自覚が芽生えたとされる19歳のシューベルトが、ベートーヴェンを意識して書いたとされる作品。鈴木は古典派からの確かなアプローチが聴き取れそうだ。

©読響

読売日本交響楽団 第603回 定期演奏会

2020年 11月19日(木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

● 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ● 東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。 ■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017